

ドゥイブス

DWIBS 検査

全身を対象とした MRI によるがんのスクリーニング検査です。

MRI の技術を使って、体内のがん細胞が集まりやすい場所を画像として映し出すことができます。
特に、「拡散強調画像」という特殊な撮影方法により、通常の MRI では見つけにくい異常も
とらえることができるのが特徴です。

全身の“見えないがん”を見つける

体への負担が少ない

全身を一度にチェック

早期発見への手がかかり

■ 放射線、造影剤を使わないため、体への負担が少ない

■ 全身を一度にチェックできる ※ 首から骨盤までとなります。

■ がん細胞が疑われる部位を早期に発見する手がかかりになる

※ すべてのがんを発見できるものではありません。胃や肺の診断には、胃内視鏡検査や胸部 CT 検査との併用をおすすめします。

所要時間

30 分～1 時間

料金

44,000 円 ※1Day ドックは、標準検査内に含まれます。

当院のドゥイブスについて



【検査を受けられない方】

□ 閉所恐怖症（狭い場所が苦手）の方 □ 妊娠中、または妊娠の可能性がある方

□ 体内に MRI 非対応の金属（ペースメーカー、体内除細動器、人工内耳など）をご使用の方

※ 体内に金属がある方については、金属の材質によっては実施できない場合がございます。検査に関してご不明な点がございましたら事前にご相談ください。

健診センター直通

ご予約・問い合わせ

稲沢市民病院 ☎0587-32-2409 予約受付 14:00～17:00（土日祝除く）



病院 News。

inazawa municipal hospital news

Vol. 101
2025. OctoberMRI
って何だろう？

今月号は、“MRI検査”の特集です。

MRI検査を受けたことのある方もない方も一緒にMRIの

世界をのぞいてみませんか？



あなたの体の“今”を見つめるMRIとは？

MRI（磁気共鳴画像診断装置）は、強い磁石と電波を使って体の中をうつす検査です。放射線を使わないので、被ばくの心配がなく体にやさしいのが特徴です。痛みもなく、横になるだけで検査できます。脳や内臓、関節などさまざまな部位を詳しく調べることができ、がんや脳の病気の早期発見にも役立ちます。

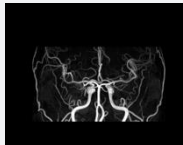


どんなときにMRI検査を受けるの？

MRI検査は、様々な症状・病気に対応できるため、以下のようなケースで活用されます。

脳や神経の病気が心配なとき

- ・頭痛やめまいが続く
- ・物忘れが気になる
- ・脳梗塞や脳腫瘍の疑いがある



脳室、血管の形などが抽出できます。

背中や腰、関節の痛みがあるとき

- ・椎間板ヘルニア、脊椎管狭窄症
- ・ひじやひざ、肩の関節の痛み、けがの診断



内臓の検査が必要なとき

- ・肝臓・すい臓・胆のう・腎臓などの病気の精密検査
- ・前立腺や子宮、卵巣などの検査

健康診断や人間ドックの一環として

- ・無症状でも、がんなどの早期発見のために
- ・ご家族に同じ病気の既往がある方の予防的検査に

安心して受けていただくために

- ・放射線を使わないため、体にやさしく、繰り返し検査が可能です。
- ・検査中の音が気になる方にはヘッドフォンをご用意しています。
- ・閉所恐怖症の方は事前にご相談ください。
- ・ペースメーカーや金属インプラント等のあるかたは、必ず事前にお知らせください。

よくあるご質問（Q&A）



Q. 痛みはありませんか？

A ありません。寝ているだけで検査が終わります。

Q. どのくらいの時間がかかりますか？

A 検査の部位や内容によって異なりますが、平均して15～30分程度です。

Q. 健康な人でも受けられますか？

A はい、健康診断の一環としても有効です。当院では脳ドックを行っており脳疾患の早期発見に役立ちます。

検査の流れと注意点

【01. 問診・検査予約】

体内にペースメーカーや人工内耳など金属が無いか確認します。

【02. 受付・更衣・準備】

時計やピアスなど外す事ができる金属がある場合は外しておいてください。

また検査部位によって着替えていただくこともあります。

【03. 検査開始】

検査台に横になり装置の中で15～30分ほど動かないように静かにお過ごしください。

【04. 終了後、帰宅可能】

麻酔などを使わないので、すぐに普段通りの生活が可能です。

※部位によっては造影剤を使用することがあります。



MRI検査を受けられる方へ

MRI検査では、強力な磁石と電波を使って体の内部を撮影します。そのため、装置に強く引き寄せられて怪我をしたり、金属の発熱によりやけどなどを起こす可能性があります、金属の持ち込みは非常に危険です。

※ 検査室に持ち込めないもの

（持ち込んだ物が故障した場合、補償出来ません。ご了承ください。）

- ・時計、ネックレス、ピアスなどの貴金属、スマートフォン
- ・眼鏡、入歯
- ・補聴器、義手、義足
- ・ヘアピン、カチューシャ、かつら、ウィッグ、ヘアエクステ、増毛スプレー



- ・リブレセンサー、湿布、カイロ、エレキバンなどの貼付物
- ・カラーコンタクト（金属が含まれるため）、アイシャドー など

以下の衣類は着替えていただく場合があります。

- ・金属のボタン、ファスナーがついた衣類
- ・ワイヤー入りの下着（ブラジャーなど）

※体内に医療機器がある方は、撮影できない場合があります。必ず医師にご確認ください。

- ・ペースメーカー、除細動器（ICD）、深部脳・脊髄刺激装置、脳室シャントバルブ
- ・人工内耳、可動型義眼、埋込型心電計、人工心臓弁、弁輪形成術リング
- ・血管内コイル、ステント、フィルタ
- ・脳動脈瘤クリップ、ステント、チタン以外の人工関節
- ・歯科矯正装置、歯科用磁性インプラント
- ・入れ墨（眉・体幹・四肢） など

検査当日は金属を外して検査を受けてください。
ご不明な点がございましたら、事前に必ずご相談ください。

